

カンキョウカジカの移植を行いました。

気仙沼土木事務所管内：只越川（気仙沼市唐桑町）



移植作業

平成27年7月1日（水）に重要種であるカンキョウカジカの移植作業を、工事着手前の只越川で行いました。

宮城県環境アドバイザーの高取先生（仙台市科学館）・棟方先生（宮城教育大学）からの助言により、施工区域内の落差工撤去によるカンキョウカジカへの影響を極力回避することを目的として実施しました。移植作業はタモ・サデ網を使い、魚体を痛めないように捕獲し、体長計測を行った後、エアポンプを設置した水槽にて運搬し、工事区域外の上流側へ放流しました。



カンキョウカジカを計測の様子（稚魚）

放流先

災害復旧工事区間より上流側に、カンキョウカジカの生息環境となる浮石が見られことから、河川増水時に支川からの流入の影響が少ない上流側の適地へ放流しました。



移植作業の様子



上流側へ放流の様子

カンキョウカジカとは？

宮城県レッドリストの絶滅危惧Ⅰ類に該当する、体側に特徴的な円形の斑紋が散財する魚類。太平洋側では北海道から北東北が分布域とされ、その南限が気仙沼市唐桑町の只越川で県内唯一の生息地。



カンキョウカジカ（成魚）

移植作業を終えて

今回の移植より約1,100個体を移植をすることができました。工事着手後は、産卵期等に配慮した工事計画を立て、定期的なモニタリングの実施を行います。今回、移植作業を行ったカンキョウカジカの他にも、只越川を含めた災害復旧工事箇所には、たくさんの重要な生態が存在します。宮城県では只越川で行っているような環境に配慮し、自然環境と共存した工事を行いながら、早期復興に努めています。

宮城県気仙沼土木事務所 河川砂防第1班

TEL:0226-24-2564 FAX:0226-24-3183

E-mail: ksdbkksb1@pref.miyagi.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-doboku/>

宮城県土木部河川課

TEL: 022-211-3174 FAX: 022-211-3197

E-mail: kasen-ka@pref.miyagi.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/>

